

# 福井の春を描いた文学

福井の春の風物詩をとりあげた随筆や詩歌、小説を紹介します。



期間:2019年4月2日(火)～6月26日(水)

項番	作家名	種別	資料名	発行年	発行者
<b>◆福井の春の花</b>					
1	橘寛曙	書籍	『橘曙寛全歌集』	1999年	岩波書店
2	室生犀星	書籍	『抒情小曲集』復刻版	1969年	日本近代文学館
3	三好達治	書籍	『故郷の花』	1946年	創元社
4	中野鈴子	書籍	『中野鈴子全詩集』	1980年	フェニックス出版
5	白洲正子	書籍	『かくれ里』愛蔵版	2010年	新潮社
6	水上勉	書籍	『失われゆくものの記』	1969年	講談社
7	宮下奈都	書籍	『緑の庭で寝ころんで』	2017年	実業之日本社
<b>◆福井の春の味覚</b>					
8	則武三雄	書籍	『ズイのズイのズイ』	1986年	北荘文庫
9	水上勉	書籍	『若狭日記』	1987年	主婦の友社
10	俵万智	書籍	『りんごの涙』	1989年	文藝春秋
11	俵万智	書籍	『短歌の旅』	1992年	文藝春秋
<b>◆福井の春の祭り</b>					
12	白洲正子	書籍	『十一面観音巡礼』	1975年	新潮社
13	津村節子	書籍	『書齋と茶の間』	1976年	毎日新聞社
<b>◆福井の春の山</b>					
14	皆吉爽雨	書籍	『遅日』	1952年	雪解発行所
15	深田久弥	書籍	『山頂の憩い』	1971年	新潮社
16	広部英一・増永迪男	書籍	『わが山・ふくいの詩』	1982年	福井新聞社
<b>◆福井の春を描いた小説</b>					
17	津村節子	書籍	『花がたみ』	1992年	中央公論社
18	津村節子	自筆資料(複製)	「花がたみ」原稿	-	-
19	山田正紀	書籍	『雨の恐竜』	2007年	理論社
20	さだまさし	書籍	『解夏』	2003年	幻冬舎
21	宮下奈都	書籍	『メロディ・フェア』	2011年	ポプラ社
22	豊田巧	書籍	『ぼんしゅでGO!』	2017年	集英社
23	雀野日名子	書籍	『あちん』	2008年	メディアファクトリー
24	住野よる	書籍	『君の膝臓をたべたい』	2015年	双葉社
25	壁井ユカコ	書籍	『空への助走』	2016年	集英社
26	時海結以	書籍	『小説映画ちはやふる結び』	2018年	講談社
<b>◆ゆかり俳人 皆吉爽雨の詠んだ春の句</b>					
27	皆吉爽雨	自筆資料	「間もなくやみ間もなく忘れ春時雨」	期間:4/2～5/22	
28	皆吉爽雨	自筆資料	「春月ののぼりてうせし黄を惜しむ」		
29	皆吉爽雨	自筆資料	「二羽かけり一羽鳴き追ひつはめくる」		
30	皆吉爽雨	自筆資料	「青き踏む近江も湖の遠き野に」	期間:5/24～6/26	
31	皆吉爽雨	自筆資料	「春惜しむ深大寺そば一すすり」		
32	皆吉爽雨	自筆資料	「この渚の藤天蓋の全けれ」		